

令和7年度 自己評価・学校関係者報告書

令和8年3月27日

明星幼稚園

1. 本園の教育目標

※目に見えないものを大切にする教育

※本物をたくさん体験、経験させてあげる教育

※卒園時、子ども自身が「自分は、園生活中とても大切にされた」と思える教育

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

※基本的生活習慣を身につけ 生活にいかしていく

※身近な自然や環境にふれ 関心や好奇心をもつ

※友達といっしょに行事や遊びなど様々な経験をして いろいろな気持ちに触れる

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	教師間の連携	B	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス運営や行事内容について、また、個々の子どもの課題や保護者への対応等その都度相談をしながら進めることができた。 ・縦割り保育も連携しながら取り組めた。保護者へも縦割りの目的等がうまく伝わったことで、保護者アンケートにも表れた。
2	指導計画の充実	C	<ul style="list-style-type: none"> ・スイミング、縦割り保育等、新しく始めたことをハロウィンやお泊まり会等の行事に活かしてよかった。 ・計画を立てることで、ねらいを見失わないでクラス運営ができた。 ・過去の月案やクラスの目標を見返しながら、子ども達の成長に合わせた保育を計画した。
3	保育について	C	<ul style="list-style-type: none"> ・行事に興味を持てるように歌を歌ったり、楽しい仕掛けを作った。 ・子どもたちに「こう育てほしい」をねらいとして保育にあたったが、途中で「こうできてほしい」になってしまった。 ・クラスの雰囲気の変化や個々の伸びて欲しい事を意識してかかわったことで、子どもの成長を感じた。
4	子育て支援について	C	<ul style="list-style-type: none"> ・在園児と関わる機会を設けることができた ・新しい試みとして1.2歳児を対象としたベビー体育を取り入れてよかった。 ・参加してくれた人からは評価をいただいても、入園につながらなかった。

評価 (A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…取り組まれているが成果が十分でない E…取り組みができなかった)

4. 総合的な評価結果

評価	理由
C	<ul style="list-style-type: none"> ・明星らしさが細部にあって、全体としてとても充実した保育ができた。 ・職員間で連携しながら実行できたものが多かった。 ・新しい取り組み(麵給食・スイミングの導入・クリスマスミニコンサート)にも挑戦できた事で保護者からは高い評価をいただいた。 ・子育て支援でも新しい取り組みや工夫をしたことで、参加者からは好評だったが入園には結びつかなかった。

5. 今後取り組む課題

	課題と取り組み
1	・縦割り保育の充実
2	・ねがいをもって子どもとかかわる
3	・職員一人ひとりの視野を広げる

6. 保護者のアンケートのについての報告

- ◎「職員の対応」については全てのご家庭で「丁寧に対応してくれている」「安心して任せられる」といったご意見が多く「満足している」と評価をいただきました。
- ◎「行事」については参加されたご家庭において全て「満足している」と評価をいただきました。
- ◎「本園の保育内容」については、全てのご家庭から「満足している」と評価をいただきました。

「毎日幼稚園のことを楽しそうに話してくれることこそが、明星幼稚園の保育内容の素晴らしさそのものだと感じています」「ブログを見ていると、色々な経験をさせてもらっていると感謝の気持ちでいっぱいです」「今年から年長児がスイミングに通えたこともとてもよかったです。楽しめることとして、小学校のプールを待つことができるようになりました」「遊びや活動を通じて楽しく学べる工夫がされていると感じます」「縦割り保育の日があったりすることで、自分よりも年下や年上のお友達に対しての接し方等学ぶ機会がある」等、職員の励みとなるお声をたくさんいただきました。

7. 学校関係者評価委員の意見

※新しい取り組みとして麺給食が増えたことは、働く保護者が多い昨今評価できる。

※入園前の方は給食や持ち物等、心配に思う人もいるかもしれないので、先生方に共感して受け止めてほしい。

※明星幼稚園はとても心が豊かな子どもを育てていると思う。そのため小学校で悩むことがあっても心が育っているのでしっかり成長してくれる。

※明星幼稚園の良さは入園してみないとわからないことが多い。

※クリスマスコンサートで教会やオルガンを身近に感じられたことがよかった。